

## REPORT 01

### 札幌大学

老人福祉センターへ  
突撃取材

テーマ：除雪

参加人数：28人

訪問先：豊平・清田区老人  
福祉センター

メンバーは「まちづくり」の  
授業を履修する学生。「冬  
の生活で困ること」などの  
質問項目を設定し、高齢者  
へ聞き取り調査を行った。



法学部2年  
木村 利昭さん

お年寄りの皆さんは、とても  
お元気で、快く調査に応じて  
くれました。除雪への意見は、「必  
要以上に高度なものは求めな  
いので、基礎的な作業をわか  
り」という声が多かったですね。  
広聴リポーター制度は、人の  
役に立てて、自分の成長にも  
つながる機会。多くの学生に  
参加してほしいと思います。

## REPORT 02

### 北星学園大学

学内アンケートを  
実施

テーマ：若者の環境意識

参加人数：5人

訪問先：北星学園大学

ごみ問題、環境問題、自然  
などについてのアンケート  
を作成。講義受講者やサー  
クル部員など、約300人の  
大学生から回答を集めた。



経済学部3年  
神保 美香さん

「学生はごみ出しのマナーが  
悪い」と言われがちですが、アン  
ケートでは、「ごみの分別をきち  
んと行っている」人が7割以上と  
いう結果が出ています。「学生  
＝環境意識が低い」と思われ  
ているとしたら、少し残念です  
ね。一人一人、できることからや  
ってみることが、環境保全には  
必要だと思いました。

## REPORT 03

### 札幌国際大学

市内40館の児童会館を  
くまなく調査

テーマ：中高生の居場所

参加人数：5人

訪問先：夜間開放している  
市内の児童会館

市内にある児童会館を、メ  
ンバーが手分けして訪問。  
利用している中学生・高校  
生に質問し、その利用実態  
を聞いた。



大学院 地域社会研究科  
斉藤 正和さん

取材中、小さな児童が中学  
生や高校生に駆け寄り、「遊ん  
で」と慕っている場面は、とて  
もほほ笑ましい光景でした。児童  
会館は、児童だけでなく、さま  
ざまな世代が集まり、交流する  
拠点にしていくべきだと思います。  
この取材を通して、将来は市  
役所のような公共の場で働  
きたいと思うようになりました。

## REPORT 04

### 北海道東海大学

定山溪温泉地域の  
抱える問題を考える

テーマ：定山溪の活性化

参加人数：5人

訪問先：定山溪観光協会、  
定山溪の旅館など

定山溪温泉地域で、観光  
協会の会長や職員、旅館  
の社長や地域で活動する  
人などを取材。地域の将来  
を憂える声を聞いた。



国際文化学部3年  
米子 将晴さん

「あなたたち、定山溪をなん  
とかしてくれないか」。何度も  
その声を掛けられました。高齢  
化による地域の担い手不足など、  
定山溪には多くの問題がある  
ことを実感しています。  
今では、「将来、自分たちが  
定山溪を元気にしたいね」と、  
メンバー同士で話しているん  
ですよ。

意見をまとめ  
市へ提案

調査した市民の意見は、学生たちが分析し、結果を政策提案書にまとめて市に提出しました。提案書は市の所管の部署に届けられ、可能な限り実現するよう努めていきます。また、提案の概要は、ホームページ [www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/reporter](http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/reporter) で公開します。

若者の力を  
もっと  
まちづくりへ

「若者に、もっとまちづくりに参加してもらい、その力を十分に発揮してほしい」。そう考え、市では今回の広聴リポーター制度や、大学生がまちづくりのアイデアを発表する「まちづくりプレゼンテーション大会」を実施しました。今後も、こうした取り組みをさらに推し進めていきます。

この誌面は、参加した学生から意見をいただきながら作成しました。